様式３

会　　議　　録

会議名 （審議会等名）		第２回　上溝地区まちづくり会議		
事務局 （担当課）		中央区役所　上溝まちづくりセンター 電話 042-762-5626（直通）		
開催日時		令和８年９月２５日（金）　19 時 00 分～21 時 00 分		
開催場所		上溝公民館　大会議室		
出席者	委　員	19 人（別紙のとおり）		
	事務局	２人（上溝まちづくりセンター地域政策担当 他１名）		
公開の可否		■可　□不可　□一部不可	傍聴者数	１人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		１　開会 ２　会長あいさつ ３　議題 （１）道保川ホタル復活プロジェクトの活動報告について （２）各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について ４　その他 （１）さがみはらみんなのシビックプライド表彰について ５　閉会		

審　議　経　過

主な内容は次のとおり。

１　開会

２　会長あいさつ

３　議題

（１）道保川ホタル復活プロジェクトの活動報告について

道保川公園ホタル復活プロジェクト実行委員会の三宅委員長から、これまでの活動や今年度のホタル観賞会の状況、今後予定されている活動について、別紙資料に基づき報告と説明がされた。

＜主な意見・質疑等＞

・観賞会の期間に観測されたホタルの数が日によってばらつきがあるのは天気が原因なのか。

→そうである。天気が良すぎると活動せずに木陰に隠れてしまう。最も多く観測された６月６日は午前中に雨が降り、午後から晴れた日でホタルの活動が最も活発的であった。

・昔と比べてホタルが減ってしまった原因はなんなのか。

→「これ」というひとつの原因ではなく、総合的な問題であると思うが、以前に小川の水の流れを人間的な視点で変えてしまったという話は聞いたことがある。人間から見るときれいに整備されているように見えても、ホタルにとっては水の自然な流れは非常に重要である。今はそれを戻して自然な水の流れとなるようにしている。

・今いるホタルを養殖して増やすことはできないか。

→最新の考え方では養殖はNGである。人間の力で増やしても自然が受け入れられなくて逆に減ってしまうこともある。自然環境を整えることでナチュラルに増やしていく方法しかとれないのが現状である。

・観賞会は時期が限られている。道保川公園が通年でホタルのことを学べる場になるとよいと思った。

（２）各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について

各委員が所属する団体等の事業やイベントの結果報告及び今後の予定について、委員全員が発言し、情報交換を行った。

＜主な意見・質疑等＞

・ダイエー上溝店の廃止後、その跡地がどうなるかを伺うために各団体の代表者

と商店街振興組合とで８月中旬にイオン本社を訪問し、地域の思いを伝えてきた。

４　その他

（１）さがみはらみんなのシビックプライド表彰について

事務局より「さがみはらみんなのシビックプライド表彰」についての説明がされ、自薦、他薦を含め、表彰の対象になる方がいる場合は、推薦書を記入の上、まちづくりセンターや秘書課まで提出してほしいと説明があった。

５　閉会（永野副会長）

以　上

令和８年度　第２回上溝地区まちづくり会議　委員名簿

団　体　等　名　称	役　　職　　名	氏　　名	出欠席
上溝地区自治会連合会	会長	小林　充明	出席
	副会長	倉橋　強治	出席
	副会長	石井　孝	出席
上溝地区社会福祉協議会	会長	永野　堅次	出席
上溝地区民生委員児童委員協議会	会長	桑水流　良光	欠席
上溝公民館	館長	吉田　勝文	出席
上溝小学校ＰＴＡ	副会長	松浦　優紀	欠席
上溝中学校ＰＴＡ	会長	川道　英弘	出席
上溝南中学校ＰＴＡ	会長	松永　茂樹	出席
上溝地区青少年指導委員連絡協議会	青少年指導委員	鈴木　洋子	出席
上溝地区スポーツ推進委員		安藤　政彦	出席
上溝地区老人クラブ連合会	会長	金子　達夫	欠席
上溝地区ボランティアグループ	代表	雫　幸一	出席
相模原市消防団中央方面隊第一分団	分団長	関田　真実	欠席
交通安全協会上溝支部	副支部長	中野　正	欠席
防災専門員		中村　秀夫	出席
上溝商店街振興組合	理事長	鈴木　崇之	出席
	副理事長	小松　靖和	出席
上溝地域包括支援センター	センター長	佐藤　浩史	出席
上溝みらい創生委員会		加藤　祐次	出席
上溝高等学校	校長	林田　裕之	出席
上溝南高等学校	校長	河合　豊	出席
相模原市私立保育園・認定こども園園長会	会長	清水　洋子	出席
道保川ホタル復活プロジェクト実行委員会	委員長	三宅　崇之	出席